

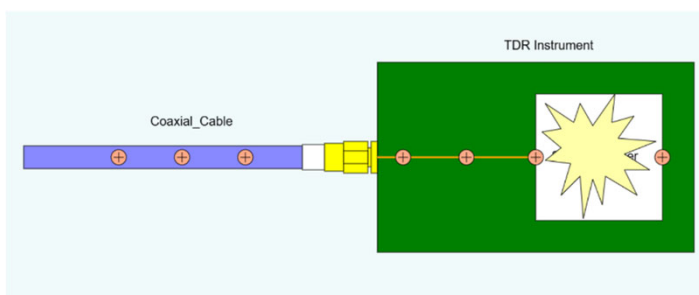
TDR/Sパラメータ測定 お悩みなんでも相談室 #02

高速伝送路（プリント基板、ケーブル、コネクタなど）の評価や不良解析で起こる問題点・課題を解決いたします。

〈問題点・課題〉

サンプリングオシロスコープベースのTDRは静電気に対して脆弱なので、機器の損傷を避けるために細心の注意が必要

機器に接続するケーブルが帯電していると、その電荷で入力部を損傷する可能性があります。接続前には、ディスチャージをする必要があります。また、DUTに接続する際も、誤って測定部分に触れると静電気で損傷する恐れがあるため、細心の注意が必要です。



テレダイン・レクロイなら課題を解決します！

〈解決法〉

テレダイン・レクロイの機器なら入力部は、ESD保護回路として測定時以外はリレーでグラウンドに落としています。帯電したケーブルを接続しても機器がディスチャージしてくれるため安心です。



※測定中はESD保護回路が無効になるため、ストラップの着用が必須です。



WavePulser
40iX



T3SP15D

